

|                          |  |             |  |       |          |
|--------------------------|--|-------------|--|-------|----------|
| 科目区分・分類                  | 専門・講義  | 対象学科名・学年    | 機械4年                                     | 科目コード | 49011091 |
| 科目名                      | 特許概論 Introduction to Patent Regulation                                       |             |  |       |          |
| 担当教員                     | 村田 弘志, 小野 伸幸   |             |  |       |          |
| 単位数(時間数)                 | 自由 前期 1単位 (30時間)   | 学習・教育目標との対応 | (E-1)                                    |       |          |
| 授業の目的と概要                 | 特許制度を始めとする国内外の知的財産権制度および知的資産経営について基礎的な知識を習得する。                               |             |  |       |          |
| 先修科目                     |  |             |  |       |          |
| 後修科目                     |  |             |  |       |          |
| 備考                       | 工学分野の基礎知識が必要である。また、国際的な特許実務に対応するためには英語の知識が重要である。                             |             |  |       |          |
|                          | <b>授業項目</b>  | <b>時間</b>   | <b>内容</b>                                |       |          |
| 1                        | 知的財産権および知的資産経営の概要  | 4           | 知的財産権と知的資産経営の概要を理解できる。                   |       |          |
| 2                        | 日本の特許制度  | 4           | 基本的な日本の特許制度を理解できる。                       |       |          |
| 3                        | クレーム論  | 4           | 権利の範囲の考え方とその意義について理解できる。                 |       |          |
| 4                        | 米国の特許制度  | 4           | 特許戦略として重要な米国における基本的な特許制度を理解できる。          |       |          |
| 5                        | 国際特許   | 4           | 産業と技術の国際化に伴って重要になってきた国際特許制度の概要について理解できる。 |       |          |
| 6                        | 知的資産の活用  | 3           | 国内外における知的資産を利用した産業活動、産業戦略について理解できる。      |       |          |
| 7                        | 特許実務演習   | 3           | 日本特許公報および米国特許公報の内容を理解し、開発レポートの作成ができる。    |       |          |
| 8                        | 著作権制度  | 4           | 特許制度と並んで重要な知的財産である著作権について理解できる。          |       |          |
| <b>前期期末試験</b>            |  |             |  |       |          |
| 学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容 | 日本及び外国における特許権、著作権をはじめとする知的財産および知的資産の基本について説明でき、企業における実務知識を示せることで(E-1)の達成とする。 |             |  |       |          |
| 成績評価                     | 定期試験(100%)で評価し、60点以上の成績を収めてこの科目の合格とする。                                       |             |  |       |          |
| 教材                       | 教科書：講義用レジメ、日本特許庁及び米国特許商標庁公報<br>参考書：『工業所有権テキスト』特許庁、大塚・松本『特許の実践知識』オーム社         |             |  |       |          |
| オフィスアワー                  | 学内担当者：放課後16:00~17:00、電子制御工学科棟1F 小野伸幸(生産技術準備室。)                               |             |  |       |          |